

HPVワクチンについてのお知らせです



【女性のHPVワクチン接種について】

現在、公費で受けられるHPVワクチンは、従来の2価ワクチン、4価ワクチンに加え、9価ワクチンの3種類です。令和5年4月より9価のHPVワクチンを公費で接種できるようになりました。

9価ワクチンは、2価ワクチンや4価ワクチンと何が違うの？

2価ワクチンと4価ワクチンは、子宮頸がんをおこしやすい種類であるHPV16型と18型の感染を防ぐことができます。そのことにより、子宮頸がんの原因の50～70%を防ぎます。

9価ワクチンは、HPV16型と18型に加え、ほかの5種類のHPV感染も防ぐため、子宮頸がんの原因の80～90%を防ぎます。

《対象》

○定期接種

小学校6年生～高校1年生相当の女の子

○キャッチアップ接種

過去にHPVワクチンの接種を合計3回受けていない、平成9年4月2日生まれ～平成18年4月1日(1997年4月2日～2007年4月1日)生まれの女性

※新中学生には、個別に案内を郵送します。

自費で受けると、全3回の接種で
5～6万円程かかります！

【男性のHPVワクチン接種について】

余市町では、男性へのHPVワクチン接種についての費用助成を行っており、対象者は**無料**で接種することができます。

《対象》

平成9年4月2日生まれ～小学校6年生の男性で接種を希望する方



男性が受けるメリット

- ①HPV感染は、性的接触によって男女間で感染を繰り返すため、男性もワクチン接種をすることで感染の広がりを抑えることができます。本人のHPV感染による病気の予防だけでなく、自分が感染源とならないためでもあるのです。
- ②尖圭コンジローマ^{*}や男性に多いと言われている咽頭がん、肛門がん、直腸がん、陰茎がん等の様々な病気の発症予防に繋がります。

^{*}尖圭コンジローマ：HPVに感染することで発症する性器の周りに小さな尖ったものができる病気です。

【HPVワクチンを接種できる医療機関】

HPVワクチンを接種可能な医療機関については、随時ホームページを更新し、掲載しています。詳しくは、余市町ホームページをご確認ください。